



Japan Display Inc.

2025年度 第3四半期  
決算説明資料

2026年2月12日

株式会社 ジャパンディスプレイ



# **PersonalTech For A Better World**



Japan Display Inc.

# 2025年度第3四半期 業績報告

	FY24 3Q	FY25 3Q	YoY
(億円)			
<b>売上高</b>	<b>1,435</b>	<b>973</b>	<b>-462</b>
民生・産業機器	501	185	-316
車載	934	788	-146
<b>EBITDA</b>	<b>△207</b>	<b>△157</b>	<b>+50</b>
<b>営業利益</b>	<b>△237</b>	<b>△187</b>	<b>+50</b>
営業外収益	22	14	-8
営業外費用	△46	△77	-31
<b>経常利益</b>	<b>△260</b>	<b>△250</b>	<b>+10</b>
特別利益	18	233	+214
特別損失	△235	△120	+115
税引前四半期純利益	△477	△138	+339
<b>四半期純利益</b>	<b>△488</b>	<b>△145</b>	<b>+342</b>
(ご参考)			
平均為替レート (円/米ドル)	152.6	148.7	

## ■ 売上高

鳥取工場及び茂原工場での生産終了等により減収

## ■ EBITDA/営業利益

売上減少分を、人件費削減や鳥取工場及び茂原工場の生産終了に伴う工場経費削減等のコスト削減で相殺

## ■ 四半期純利益

関係会社株式売却益（特別利益185億円）、事業構造改善費用（特別損失113億円）を計上

	FY24 3Q	FY25 3Q	YoY
(億円)			
<b>売上高</b>	<b>405</b>	<b>308</b>	<b>-97</b>
民生・産業機器	118	50	-68
車載	288	259	-29
<b>EBITDA</b>	<b>△73</b>	<b>△33</b>	<b>+39</b>
<b>営業利益</b>	<b>△83</b>	<b>△43</b>	<b>+40</b>
営業外収益	12	13	+1
営業外費用	△17	△30	-13
<b>経常利益</b>	<b>△87</b>	<b>△59</b>	<b>+28</b>
特別利益	0	17	+17
特別損失	△228	12	+240
税引前四半期純利益	△315	△30	+285
<b>四半期純利益</b>	<b>△319</b>	<b>△32</b>	<b>+288</b>
(ご参考)			
平均為替レート（円/米ドル）	152.4	154.1	

## ■ 売上高

鳥取工場及び茂原工場での生産終了等により減収

## ■ EBITDA/営業利益

人件費削減や鳥取工場及び茂原工場での生産終了に伴う工場経費削減が進み赤字縮小

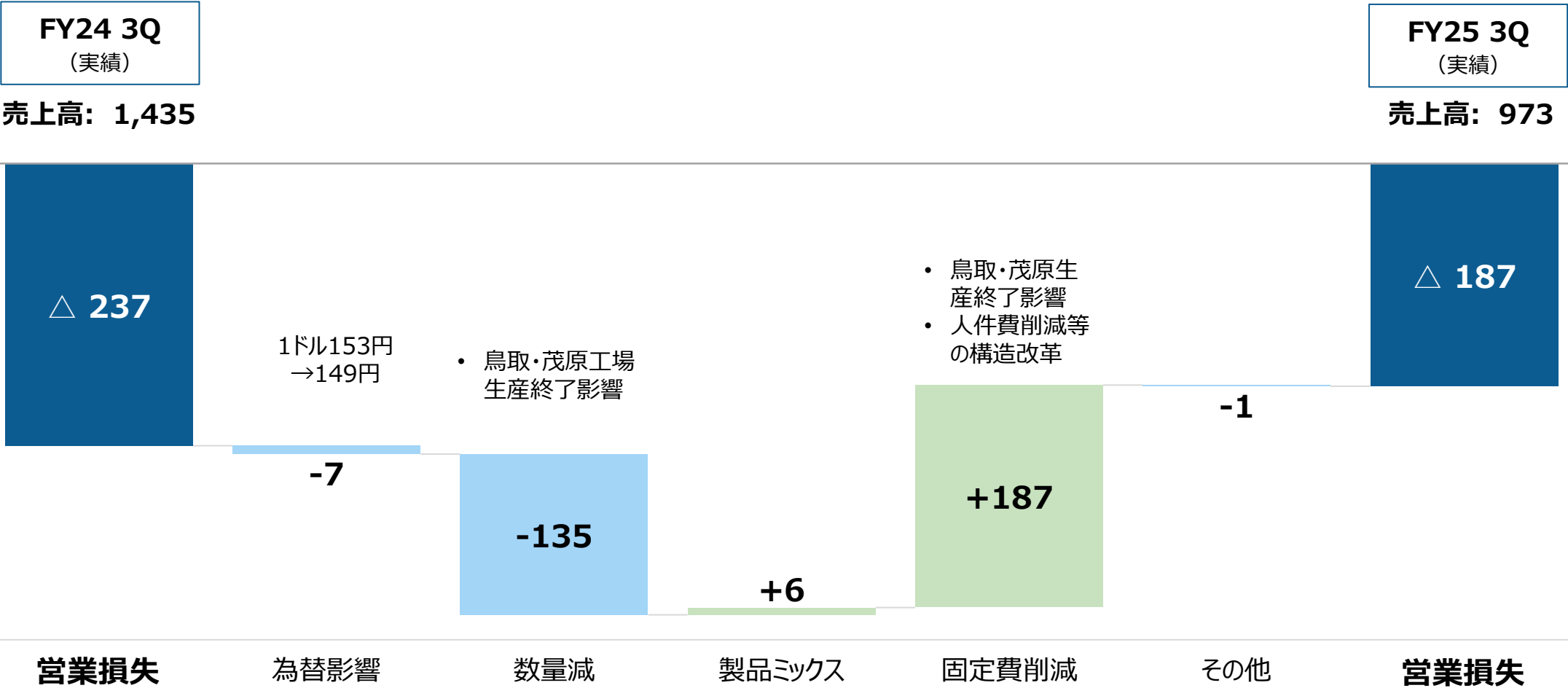
## ■ 四半期純利益

茂原工場生産終了に伴う減損損失（前年同期204億円）が当四半期大幅に減少。

茂原工場生産終了関連の見込費用の見直しにより、14億円の事業構造改善費用の戻入（特別損失）計上。

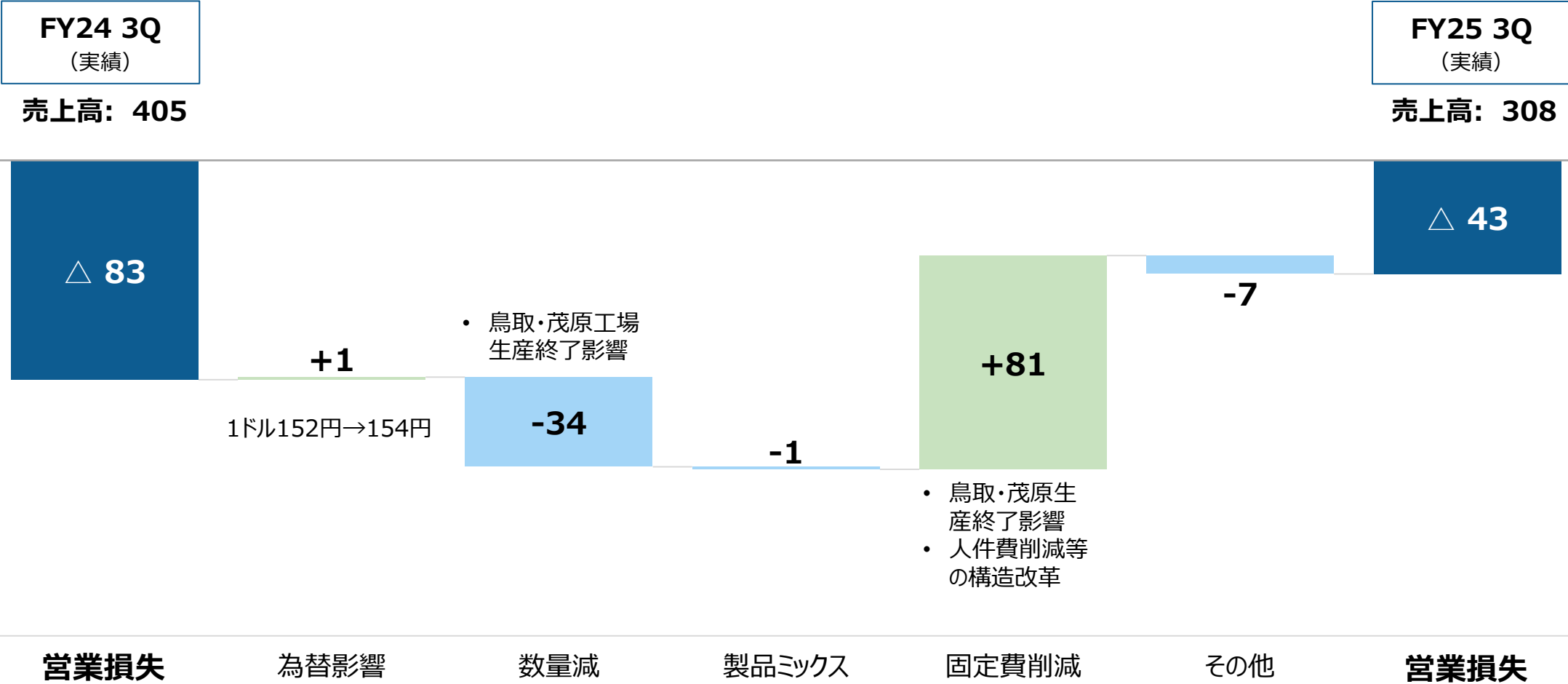
前年同期比

(億円)



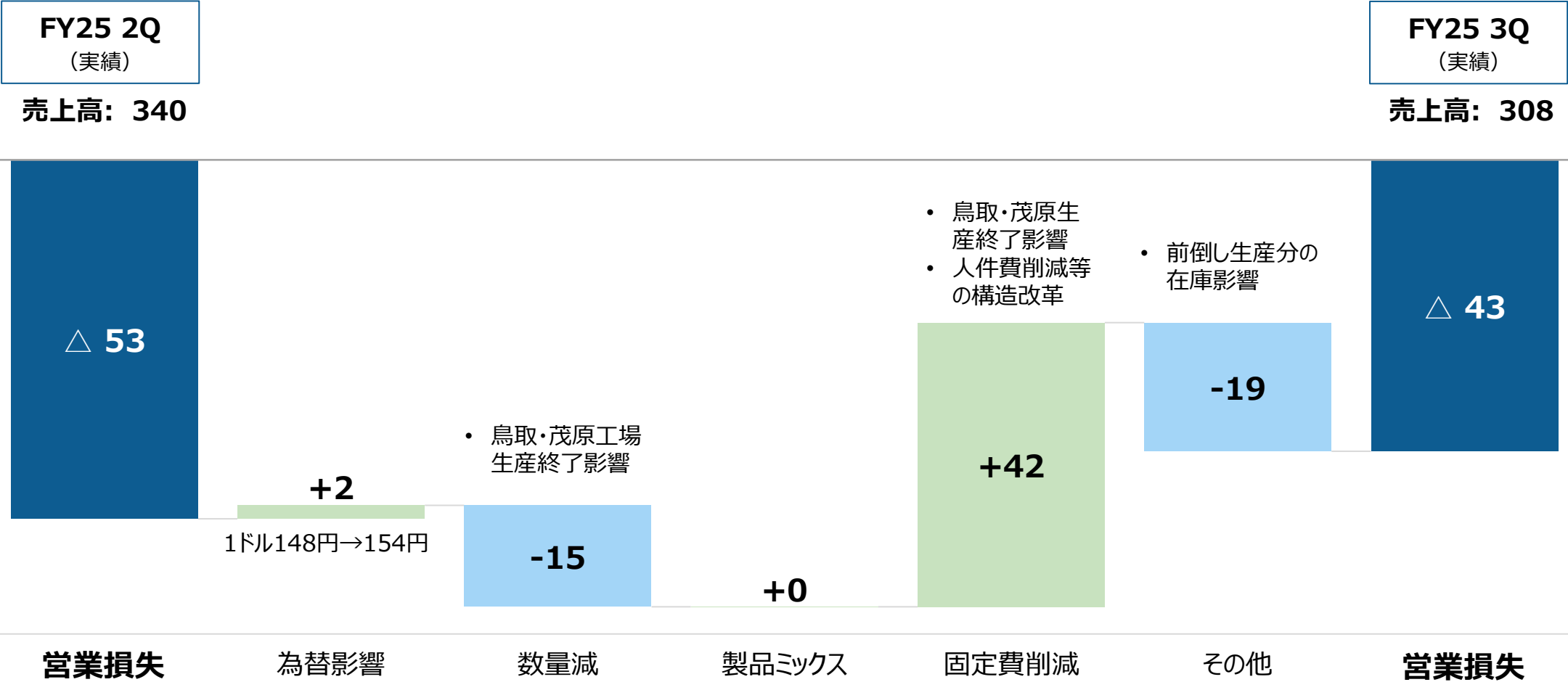
前年同期比

(億円)



前四半期比

(億円)





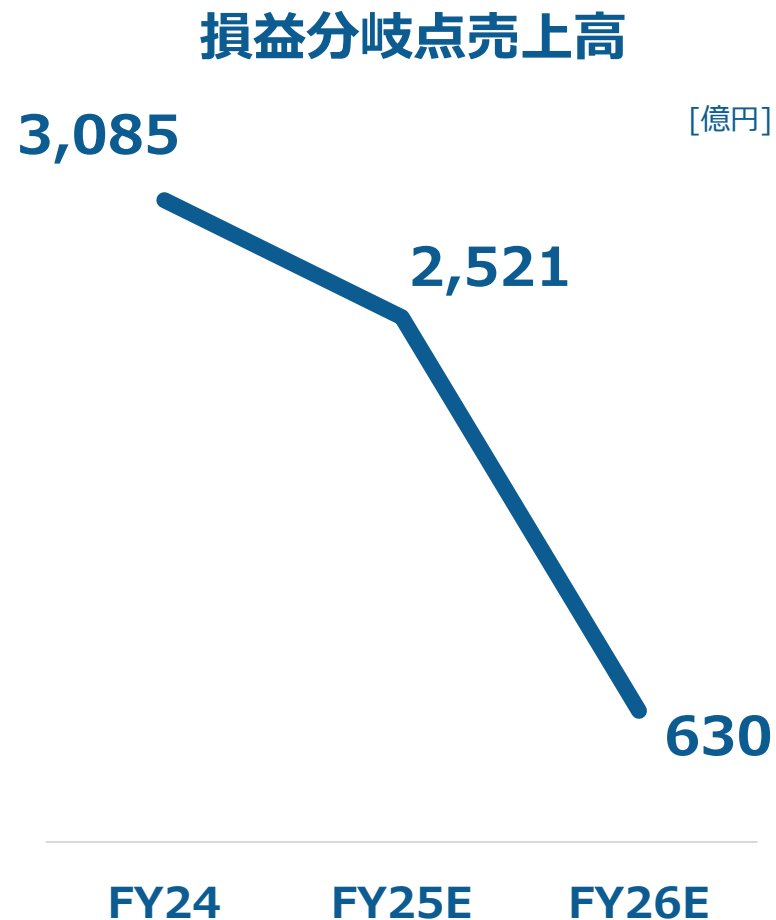
	FY24 期末	FY25 3Q末	前年度末比
(億円)			
現金及び預金	211	314	+104
売掛金	228	134	-94
在庫	441	363	-78
その他流動資産	122	131	+9
流動資産合計	1,002	942	-60
固定資産合計	479	444	-35
資産合計	1,480	1,386	-95
買掛金	282	236	-46
有利子負債	610	663	+53
前受金	72	144	+72
その他負債	447	403	-45
負債合計	1,411	1,446	+35
純資産合計	69	△60	-129



Japan Display Inc.

# BEYOND DISPLAY戦略の 進捗状況

コスト削減と収益向上施策の効果により損益分岐点を大幅低減し、黒字化実現を図る



## 2025年11月に茂原工場の生産を終了 工場の転用については、引き続き売却先候補との交渉を推進



顧客へのパネル供給は調整が完了し  
生産終了



eLEAP戦略提携に伴うInnoluxとの活動を終了  
所有する知的財産の活用を通じ、業界に対して  
マスクレス蒸着分野における技術貢献を継続



**リスク低減に向けたサプライチェーンの見直しにより  
戦略的生産拠点として日本の重要性は増大**



**JDIの存在価値は飛躍的に向上**  
**JDIのディスプレイ・センサー事業等  
の戦略的価値が向上**

## 地政学リスクの高まりに伴い、セキュリティや防衛産業など幅広い分野でのJDI製品のニーズが一層拡大

### ディスプレイ

#### 車載用途

欧米OEMにおいて、生産拠点から主要部材調達までを対象としたデカップリングに備える動きが加速

#### 産業機器用途

堅牢性を追求した高品位、高信頼性ディスプレイで、過酷な環境下でも視認性を確保

石川MULTI-FABで安定した供給が可能



### センサー

#### 指紋センサー

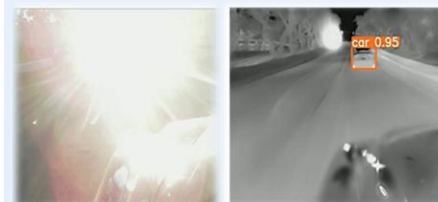
連邦捜査局 (FBI) によってPIV認定された高いセキュリティ性能

特徴点を多く取得できる大面積化により、判別精度向上に寄与 (iMD Inc.協業)



#### サーマルイメージングセンサー

カメラやLiDARでは撮像が難しい、強い逆光や雨、煙などの過酷な環境でも高解像度出力が可能 (Obsidian Sensors Corp.協業)



一般カメラ

サーマルイメージング  
センサー

## Kymetaとの次世代衛星通信アンテナ用ガラス基板の 開発・量産に関する協業を通じ、次世代通信インフラ分野へ貢献



- 産業用衛星アンテナのグローバルリーダー
- マルチバンド／マルチオービット対応の先端通信技術
- 防衛・公共安全領域での豊富な導入実績

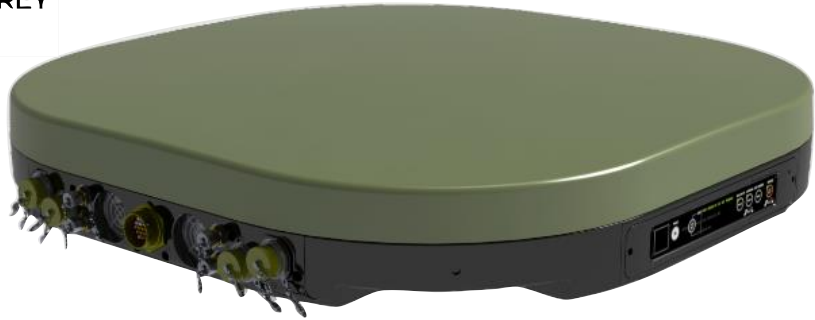


Japan Display Inc.

- ディスプレイ由来のガラス薄膜配線技術
- Made in Japan がもたらす高品質と安全保障上の安心性
- 高度な設計と先端プロセスによる卓越した製品化能力
- 車載・産業分野で実証された石川工場の高品質・高信頼性



ディスプレイ由来のガラス薄膜配線技術の先進アンテナ部品への採用と、  
産業用衛星アンテナ分野のグローバルリーダーであるKymetaとの協業による  
次世代通信インフラ分野への貢献



参考：Kymetaで量産されているアンテナ「Osprey u8」現行モデル



- KymetaとのKu/Ka帯マルチバンド対応次世代メタサーフェスアンテナの開発・量産契約締結
- 低軌道衛星の拡大を背景とした防衛・公共安全分野中心の高信頼・即応型衛星通信需要の急拡大
- 米国「ネットワーク・オブ・ネットワークス」構想におけるマルチバンド・マルチオービット端末の重要性増大
- 高精細TFT技術を活用した業界初マルチバンド衛星通信端末の実用化と次世代通信インフラ市場でのプレゼンス拡大

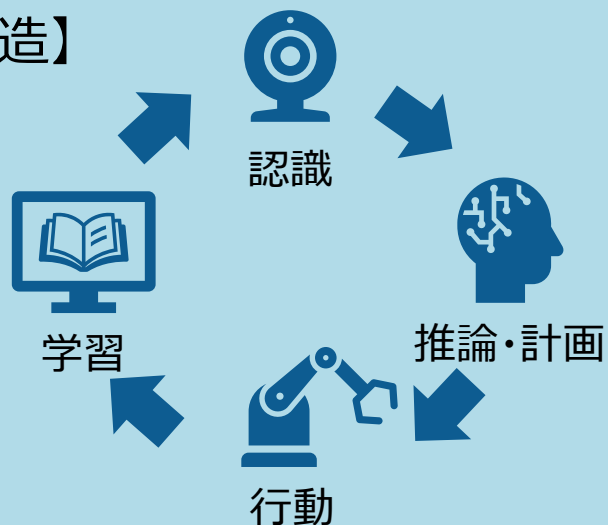


## フィジカルAIの発展を支える、JDIのセンサー技術

### フィジカルAI

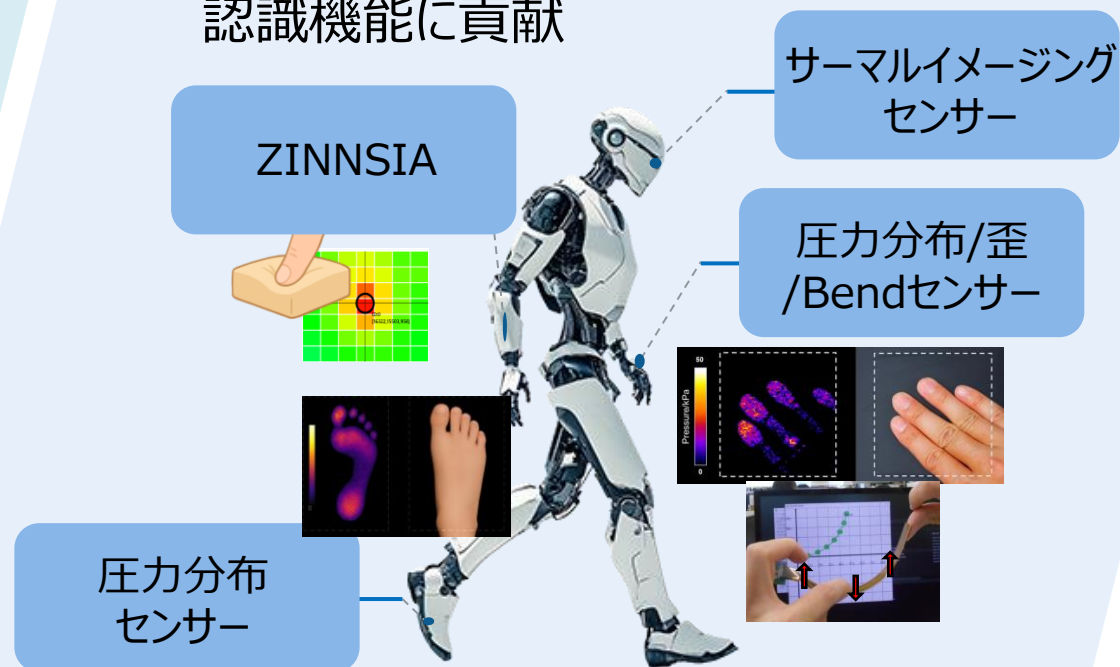
実世界で認識・判断・行動し、体験から学ぶAIロボットや自動運転など、物理世界で自律的に成長する智能

#### 【構造】



### JDIセンサー技術

高解像度面センサーを活用し、見えないものを検出しデータ化、フィジカルAIの認識機能に貢献



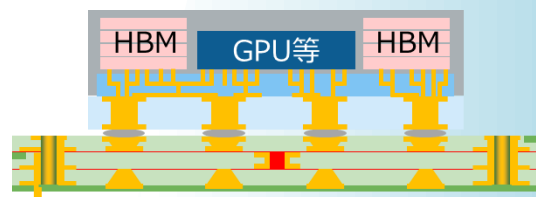
## 協業を通じて独自技術を掛け合わせ、 次世代半導体を支える新たな基板ソリューションを創出

### コア基板材料企業

- 世界トップレベルのコア基板材料技術  
(ガラスコア、セラミックコア)
- 半導体パッケージ市場における確立された地位
- 高信頼材料メーカーとしての実績

### JDI

- 薄膜プロセス・高精細配線技術
- 大型ガラス基板加工と薄膜プロセスの融合力
- 車載・産業機器分野で実証された  
“日本品質の高信頼量産力”



**ガラスコア** : 大型基板化、低コスト、高信頼性  
**セラミックコア** : 低熱膨張、高寸法安定性、高放熱性  
コア基板に高精細配線という新たな競争力を加え、新世代パッケージ基板を創出

**約100台のRaelclearが多様な場面で活用され、  
ユニバーサルコミュニケーションの実現に貢献し高い評価を得る**



20.8"透明ディスプレイ



東京都のイメージ動画で  
紹介された透明ディスプレイ



**コミュニケーション支援の  
社会実装を通じて  
共生社会の実現を目指します**



12.3"アクセシブル窓口



4"文字起こし

# JDI

# BEYOND DISPLAY



Japan Display Inc.

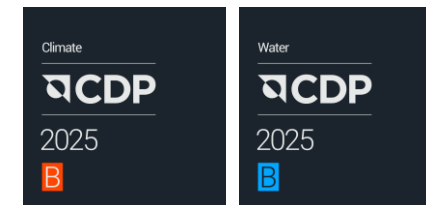
# Appendix

	FY24 3Q (9か月)	FY25 3Q (9か月)	YoY
(億円)			
税引前四半期純利益	△477	△138	+339
運転資金の増減額	50	116	+67
その他	235	△169	-404
営業キャッシュ・フロー	△193	△191	+2
固定資産の取得による支出	△67	△5	+62
関係会社株式の売却による収入	0	200	+200
その他	23	31	+9
投資キャッシュ・フロー	△44	227	+271
短期借入金の純増減額	185	55	-130
その他	△2	△4	-2
財務キャッシュ・フロー	183	51	-132
四半期末現預金残高	238	309	+71
フリー・キャッシュ・フロー	△260	△196	+64

(注) 「フリー・キャッシュ・フロー」は、「営業キャッシュ・フロー」と「固定資産の取得による支出」の合計額です。

## ■ CDP 2025 : 気候変動、水セキュリティ分野にてBスコア

CDPより「気候変動」「水セキュリティ」分野において昨年に引き続きBスコアを獲得



## ■ 「世界に字幕を添える展 in 東京」(株式会社アイシン主催)にてRaelclearが活用

2025年11月から開催された同イベントにおいて透明インターフェイスRaelclear (レルクリア) が活用  
対面でのコミュニケーションをサポートし、「誰もが参加できる社会」の実現に貢献

## ■ CES 2026にZINNSIAを出展

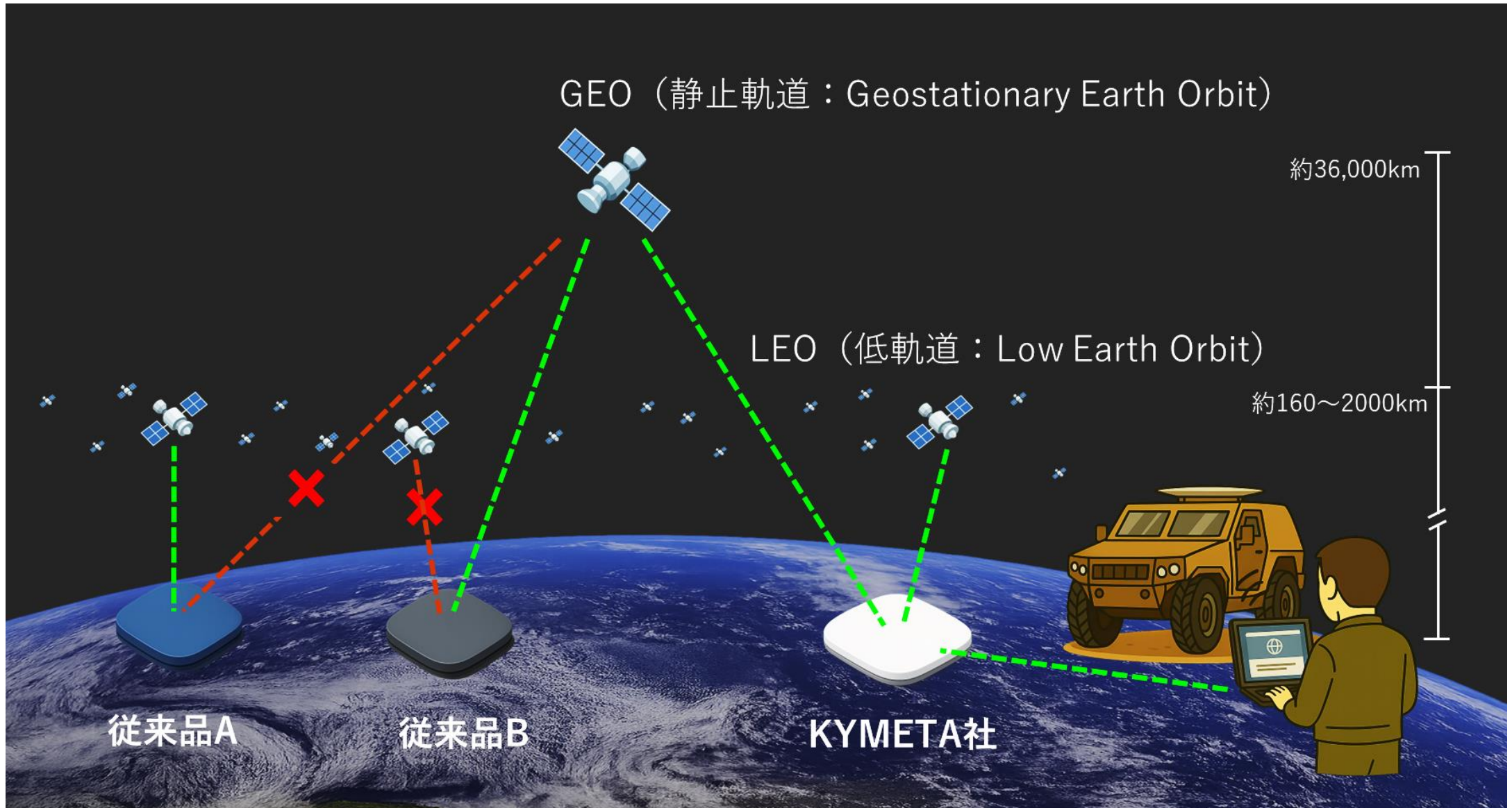
2026年1月に米国ネバダ州ラスベガスで開催された「CES 2026」に出展  
ZINNSIAについて、ロボティクス・エンターテインメント・家電・住宅設備など幅広い分野への応用例を公開

## ■ Kymetaと次世代衛星通信アンテナ用ガラス基板の共同開発と量産供給に合意

産業用衛星アンテナのグローバルリーダーであるKymeta Corporationと協業し、次世代衛星通信インフラ分野へ貢献

その他のプレスリリースはJDIウェブサイトのニュースページをご参照ください。( <https://www.j-display.com/news/> )









# THANK YOU

## 将来予測及び見通しに関して

本資料に記載される業界、市場動向または経済情勢等に関する情報は、現時点で入手可能な情報に基づいて作成しているものであり、JDIがその真実性、正確性、合理性および網羅性について保証するものではありません。

また、本資料に記載されるJDIグループの計画、見積もり、予測、予想その他の将来情報については、現時点におけるJDIの判断又は考えにすぎず、実際のJDIグループの経営成績、財政状態その他の結果は、国内外の個人消費その他の経済情勢、為替動向、ディスプレイを搭載する電子機器の市場動向、主要取引先の経営方針、原材料価格の変動等により、本資料記載の内容またはそこから推測される内容と大きく異なることがあります。